



1020  
発行  
2020年  
11月19日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
清野 聡  
編集責任者  
教 宣 部



# コロナ禍で開く

## 第73回定期地方大会開催する

第73回定期地方大会はコロナ禍の中予定通り10月31日に開催しました。  
新型コロナウイルス感染症拡大防止から大会出席者は地本・執行委員、そして大会構成メンバーだけの大会とし2時間の短い日程で開催しました。  
また、今回特例措置で委任状制度を導入しました。



大会は成立・10名の出席



大変な状況の中でしたが組合員の御協力で大会代議員は11名中10名の出席（委任状1名）で成立しました。  
大会は、藤井副委員長のあいさつでスタートしました。

清野委員長あいさつ

清野委員長のあいさつは「多くの組合員が出席していただき感謝している。  
コロナの第2波がきている。



議長に石川代議員

議長には新潟駅連合分会の石川代議員を選出しました。  
大会は、限られた時間でしたが代議員から発言が多く出され、特に職場の問題点が出されました。



感染拡大防止にマスク、三密を避けて予防していきたい。  
本部大会や東日本本部大会は書面審議となったが地本は予定通り開催できたのでよろしくお願いたい。

## 全体の意見



会社が一緒になる

Jトレック・JR東日本・JRTM三社の話し合いがあった。来年4月から会社が一緒になる。年収はJRTMからJトレックへ出向すると年収が落ちると言われている。

JRTMのプロパー社員はどうしようか悩んでいる。ある社員は別な職場を探している模様だ。転籍出向なので出向を拒否すると解雇になる。



準備時間が足りない

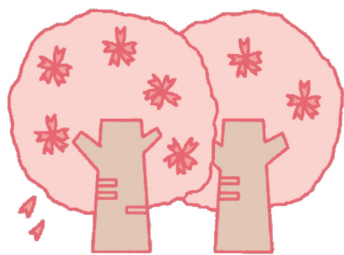
乗務員の勤務について、勤務の準備時間を見直していない。準備時間が足りない。職場では若い社員は勤務前に準備をしている。サービス労働がやられていて、当然だと助役も認識している。準備時間についての要求を上げて欲しい。

## 地本執行委員会の成立

執行委員長  
清野 聡 総括  
執行副委員長  
藤井 明人 教宣部長・共闘  
書記長  
福富 雅彦 企画・交運共済・共闘

執行委員  
荒井 聡 総務部長・財政  
羽豆 一幸 業務部長・組織  
加藤 秀夫 組織部長  
新野 徹 調査部長・組織・共闘  
長谷川 正志 貨物担当・組織・共闘

会計監査  
鷲尾 太郎  
木村 伸一





貨物会社でも乗務員・勤務の準備時間が足りないとして、見直し要求を上げた。本線など徐行運転などある場合は、運行速度など計算して出さなければならぬ。  
安全・安定輸送をしていくために余裕のある準備時間が必要だ。

アル検は点呼時にするべきだ。現状では点呼より前にやっている。(東日本)



長野から新潟の新幹線車両基地へ10名派遣されている。2名は技管担当でその2名は長野に帰る。  
長野ではクリスマス前の頃に交検が出来るようになる。  
2階建・E4系)来年の秋まで運用と報道されているが公式ではない。E7系は長野に配属になる。(新潟に配属になる予定だった)

12月に長野へ戻る。(2/3編成)

保線職場でも石綿を使った作業をしていた。職歴など会社へ提出し健康管理手帳の取得を目指す。



定期大会は10時に開会、2時間という限られた日程でしたが、職場の問題点など発言がありました。全体の討論、書記長集約があり最後は清

## 2021年・地本旗開き中止します

第73回地本定期大会でも、地本旗開き開催について意見が出されました。コロナ禍、状況が終息するかどうか判断できないので、第1回執行委員会で議論し、「地本旗開き」の開催については中止することにしました。

感染拡大防止のため組合員皆様のご理解をお願いします。



野執行委員長の力強い団結がなければならぬ。さらに団結を固めました。今大会で長年、地本の執行委員として活躍して頂いた、佐藤昌典さんが退任されました。長い間ありがとうございました。

同日、第1回地本執行委員会を開催し執行委員会の成立と任務分担を決定しました。

コロナ禍での厳しい状況が続きますが地本・組合員全体の団結で組織拡大を中心に、さまざまな課題について取り組んでいきましょう。よろしくお祈りします。



# ちよつといつづく

今年の秋山郷・栄村の紅葉は最高でした。10月の下旬に栄村へ行きました。

津南町から405号線で栄村へ向かいますが、その道中の山肌の紅葉は見事でした。

赤、黄色、などなどきれいで運転しながら見とれていました。今年ももう山に雪が2回降ったよ、と地元の人が話していましたが、今年は雪が降るのが早いです。

苗場山は2回降って、里も白くなりました。いよいよ冬に…。昨年は小雪で、1月、2月でも道路は積もってなく車の走行は大丈夫でした。今年も、鳥山も白くなっています。早いです。国道405号線の道路状況は細く、カーブ、坂などあり4駆でないといは厳しいです。地元の人、4駆じゃないと駄目だよ。と話していました。



しかし、冬の栄村も魅力的です。12月も予定しています。12月は、チエーンを準備していつとを考えています。民宿の女将さんは、もう雪が降るから無理じゃないの・・・と言ってくれました。でも何とか・・・



右、写真の湯船は「楽養館」です。楽養館は、11月15日で営業を終了しました。これから5月の連休まで休館になります。

これから、秋山郷・栄村は厳しい冬に入ります。でも栄村の人達はたくましいです。あつたかい人たちが。だから、また行ってみたいと思つたのでしよう。私は、栄村の人たちに逢いたくて車が勝手に栄村へ走っています・・・

